

東洋大学 スーパーグローバル大学（SGU）創成支援採択事業ロジックモデル

インプット

SGU予算

物品費

消耗品費

人件費

専従教職員人件費

謝金

招聘者/外部専門家

旅費

海外・国内旅費

海外招聘旅費

その他

外注費

ポートフォリオ

システム保守料

語学講座実施業務

印刷製本費

広報用資料/テキスト・

資料等印刷

会議費

学生ワークショップ

通信運搬費

資料等送付代

海外データ通信費

その他（諸経費）

派遣型契約制職員

業務委託（海外拠点管

理/入学前教育実施/グ

ローバル継続教育/渡日

前入試等）

大学独自予算

人件費（ビジネス英語講師）

謝金（留学生チューター）

外注費（外国語翻訳、課外英

会話講座運営）等

アクティビティ

具体的ビジョン・中期計
画等の検討

学内組織の改編

国際通用性を見据えた採
用と研修の実施

国際大学連盟による
ISAS(国際戦略に関する
助言)受審準備

IR室、高等教育センター
自己点検・評価分析

事業法人化の検討

新学部等設置準備

FD・SD活動

東洋グローバルリーダー
(TGL)プログラムの実施
及び管理システム開発

UMAP(アジア太平洋大学
交流機構)国際事務局誘致

海外への業務出張

ISEP, IES等との連携協議

渡日前入試の実施

課外語学講座等の受講支援

フルスカラーシップの創設

翻訳作業等外注

アウトプット

具体的ビジョン・中期計
画等の策定

国際連携本部及び国際教
育センター設置

関係規程の整備

外国人等教職員の増加及
び女性参画の拡大

ISAS2.0の受審

IR機能の強化・充実

東洋大学グローバルサー
ビス(株)設立

新学部開設及び学科改編

TGLの育成及びEポート
フォリオによる一元管理

海外大学との協定数増加
及び学生の留学機会増大

国際編転入制度導入

各種奨学金制度の拡充

語学学習環境の充実

外国人留学生の増加

クォーター制、秋入学の
導入

シラバスの英語化率向上

初期アウトカム

ガバナンス

- 中長期ビジョンの明示
- 国際化推進体制の確立
(国際連携本部による統括、
全学参画の部会編成)
- 国際教育センターの機能
拡充(既存部署の統合、
事務局1部1課体制へ移行)

組織

- 教職員の多様性促進
- 教務システムの質保証と
国際通用性の向上
- 教職協働体制の確立
- 国際化推進に関わる教職員
の増加
- 国際化業務のアウトソース
及び事業化進展

教育・研究

- 教育目標3Pの再構築
- 英語による授業科目数・
英語トラック課程の増加
- Eポートフォリオによる
TGL育成状況の可視化
- 国際的ネットワークの構築
- 学生の流動性向上
- 国際通用性の高いプログラ
ムの展開
- 留学支援制度の充実
- 学生の外国語力向上
- 日本語教育の充実
- 柔軟な学事暦の構築
- ダブルディグリープログラ
ムの実施

中・長期アウトカム

戦略的三大改革の発現

- ① 国際編入制度やUMAPスキームにより
「国際通用性の高いプログラム」
を展開しアジア版エラスムスを実現。
国際通用性の
高いプログラム
- ② 幼稚園からシニアに至る幅広い世代を対象に
「全世代グローバル教育」
を実施し
社会に貢献。
普遍的な
全世代グロー
バル教育
- ③ 事業法人化を通じた
「持続可能な教育プラットフォーム」
の構築により、自走化モデルを提示。
持続可能な教育
プラットフォーム

アジアのハブ大学へ

インパクト

◆ 世界で活躍できる人材の輩出と分厚い中間層の形成

東洋グローバルリーダー(TGL)プログラムを通じて、語学力・異文化適応能力・問題解決能力を備えた人材を育成。ニューエリート(460名)の育成と中間層(2,500名)の底上げを果たし都市型総合私立大学のグローバル化を牽引。

◆ UMAPの活動を通じ学生の流動性を加速

アジアのハブ大学構想を体現するUMAP(アジア太平洋大学交流機構)の取組みはTimes Higher Educationに掲載される等、国際的に高い評価。本学はUMAP国際事務局として加盟諸国と連携し学生のモビリティ向上に貢献。

◆ 事業会社と連携した国際化推進自走化モデルを提示

国際業務の事業化により安定的な収益基盤を確立。「持続可能な教育プラットフォーム」の構築事例として自走化を実現。